

感染症の予防のための情報提供について

病 名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）																											
年齢及び性別	10代・女性	職 業	専門学校生																									
住 所	松阪市																											
発病年月日	令和 4年 8月 1日																											
診断年月日	令和 4年 8月10日																											
<p>（患者発生の経過）</p> <p>8月 1日 腹痛、下痢、血便、発熱がみられたため、松阪市内の医療機関を受診し、入院となった。</p> <p>8月10日 8月4日の便検査から腸管出血性大腸菌感染症と診断された。</p> <p>8月12日 患者は現在、退院し、症状はありません。</p>																												
<p>【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施（松阪保健所）</p>																												
<p>【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2018年</th> <th>2019年</th> <th>2020年</th> <th>2021年</th> <th>2022年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者</td> <td>32</td> <td>29</td> <td>22</td> <td>26</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>保菌者</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>計(感染者)</td> <td>51</td> <td>49</td> <td>35</td> <td>37</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>						2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	患者	32	29	22	26	13	保菌者	19	20	13	11	9	計(感染者)	51	49	35	37	22
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年																							
患者	32	29	22	26	13																							
保菌者	19	20	13	11	9																							
計(感染者)	51	49	35	37	22																							
<p>※2022年1月1日～2022年8月12日現在まで本件含む</p> <p>2022年内訳 患者：O157（11人）、O26（1人）、型不明（1人）</p> <p>保菌者：O157（2人）、O146（2人）、O26（2人）、型不明（3人）</p>																												
<p>【自分でできる対策】</p> <p>1 予防の3原則</p> <p>① 加熱（菌を殺す） この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。 肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。 ひき肉は、十分に加熱をしましょう。 焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。 井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。</p> <p>② 迅速・冷却（菌を増やさない） 調理した食品はすぐに食べましょう。 冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）に入れましょう。</p> <p>③ 清潔（菌をつけない） 手指や調理器具は十分に洗いましょう。</p> <p>2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。</p> <p>3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。</p>																												